

「想いが未来を拓く!!」

テーマ

# 「富士印刷の GX 経営に向けた道のり」

瀬戸内海から眺望した四国中央市

株式会社 富士印刷  
代表取締役 石川 正人



# 社 是

せんぎこうり  
「先義後利」

先義後利

常に利他の心を忘れず

真心を持ち誠の道に達し事なく

業に励み

世の為人の為に尽くす

代表取締役 石川 正人

## 会社概要

設立年月日	昭和42年1月18日
資本金	1,000万円
社員数	49名
代表取締役	石川 正人
本社	愛媛県四国中央市川之江町長須192
大野原工場	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
大野原第2工場	香川県観音寺市大野原町青岡165-1
観音寺工場	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1





# 作業風景





# 当社の経営戦略

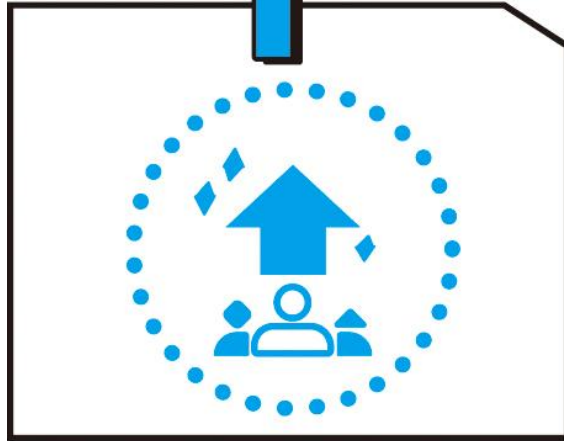


書道パフォーマンス甲子園



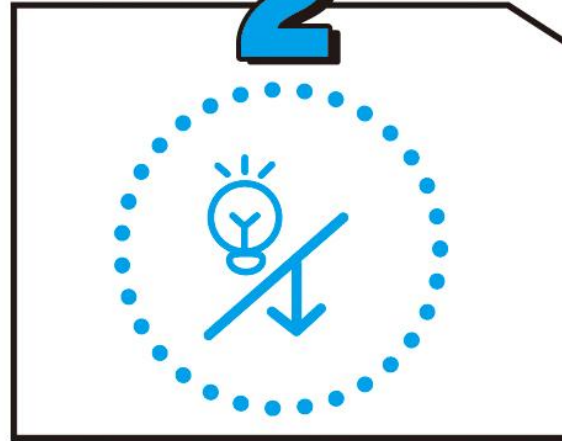
# 経営戦略的5要素

1



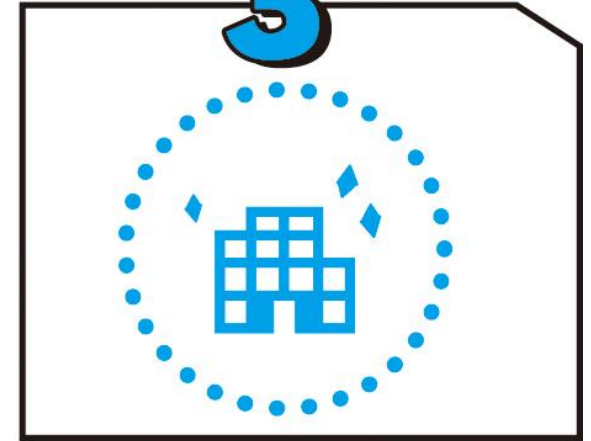
優位性の構築

2



光熱費・  
燃料費の低減

3



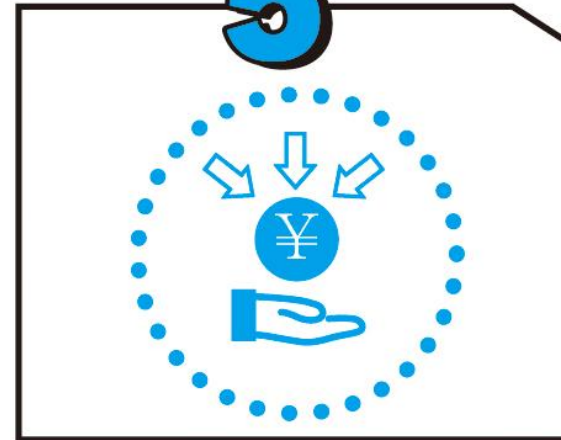
知名度・  
認知度向上

4



社員の  
モチベーション・  
人材獲得力向上

5



好条件での  
資金調達



# GX

グリーントランス  
フォーメーション



## GX経営

- 売上増加
- 経費削減
- 雇用確保
- 資金繰り
- 事業承継





# 株式会社富士印刷 売上推移

(円)



2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 (年)

- ・ SBT認証取得
- ・ Jークレジット購入
- ・ 「かがわ脱炭素取組優秀賞」を受賞
- ・ 中小機構によるハンスオン支援
- ・ 「脱炭素経営への取組み」
- ・ 「省エネお助け隊」による省エネ診断実施
- ・ 「TEAM EXPO 2025」プログラム共創チャレンジへ参加登録
- ・ かがわ地方創生SDGS登録制度に登録
- ・ カーボンニュートラル実践セミナー開催
- ・ ローカルSDGS四国に登録
- ・ 四国中央市SDGS推進パートナーに登録
- ・ SDGS行動宣言
- ・ 「省エネお助け隊」による省エネ診断実施
- ・ 新型コロナウイルス流行



# 大手取引先において、サプライチェーンでの開示の義務化が見込まれる

SSBJ 基準への対応の準備段階に入っています  
(サステナビリティ基準委員会)

## サステナビリティ基準委員会がサステナビリティ開示基準を公表

2025年3月5日  
サステナビリティ基準委員会

当委員会は、国際サステナビリティ基準審議会（以下「ISSB」という。）の設立を受け、2022年7月に、我が国において適用されるサステナビリティ開示基準の開発及び国際的なサステナビリティ開示基準の開発への貢献を目的として設立されました。

当委員会は、サステナビリティ開示基準の開発にあたり、基準を適用した結果として開示される情報が国際的な比較可能性を大きく損なわないものとなるようにするため、その基本的な方針として、ISSBのIFRSサステナビリティ開示基準との整合性を図ることを基礎とし、議論を重ねてまいりました。

当委員会は、2025年2月19日開催の第49回サステナビリティ基準委員会において、我が国最初のサステナビリティ開示基準となる、次の3つのサステナビリティ開示基準の公表を承認しましたので、本日公表いたします。

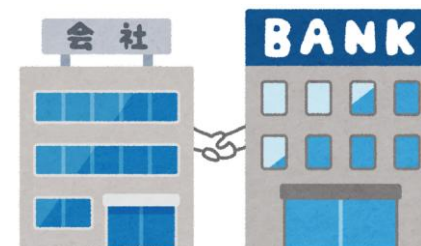
1. サステナビリティ開示ユニバーサル基準「サステナビリティ開示基準の適用」
2. サステナビリティ開示テーマ別基準第1号「一般開示基準」
3. サステナビリティ開示テーマ別基準第2号「気候関連開示基準」

公表にあたって



## 着目点（当初の打ち手）

### 金融機関との連携の重要性



四国中央市は紙産業が盛んな地域

多くの金融機関から地元企業に金融面でご支援賜っている

人口 79,668人（令和7年10月末）

（銀行数13行・30店舗）

単なる資金供給機関で  
よいか？

売り手市場



金融機関像

付加価値額を増大化  
してくれる資金供給機関

付加価値額＝営業利益＋人件費＋減価償却費



# 取引金融機関の営業担当者に全振り

困った  
困った



後 日



アフローナ3

実践内容

1

2

3

4

5. 支援の検討

6. 評価

7. 評価

8. 評価

取引先の中長期的な取組の検討

■ 経営者の意思やありたい姿に向けて、将来的な機会の獲得やリスク緩和をし、取引先が既存事業をより持続可能なものへと変革するために何を実現していくべきかを、中長期的な視点で取引先と検討していることが重要である。

■ 中長期的な取組を行っていく際には、関連する取組が与える環境・社会への影響を把握し、将来的な目標を設定、その実現に向けた取組の進捗管理をするというオーソドックスなPDCAの手法が考えられる。

実施事項（例）	概要
現状把握	<ul style="list-style-type: none"><li>リスクや機会につながる取組の環境・社会へのインパクト、あるいは、そのインパクトの創出に関係する取組について可能な限り定量的に把握する。 （例：CO2排出量、廃棄物排出量、プラスチック使用量等）</li><li>現状の取組についても適切に開示・公開することで、顧客が新規の販売先の獲得に向けたアピール材料とできる。</li></ul>
目標設定	<ul style="list-style-type: none"><li>上記で把握した事項について、将来的な目標を設定する。なお、可能な限り事業目標と連動して設定することが望ましい。 （指標例：一袋あたりのプラスチック使用量、腐敗防止向けの包装供給量等）</li><li>設定した目標、実行内容、進捗状況を公開・開示することも関連するステークホルダーへの透明性を高め、信頼向上につながる可能性がある。</li></ul>
実行	<ul style="list-style-type: none"><li>目標達成に向けて日々の取組を実施。必要に応じて、研究開発投資や設備投資を実行する。</li><li>設定した目標に向けた取組の実行において、必要な取引先や外部機関との連携も効果的な手段となりうる。</li></ul>
進捗管理	<ul style="list-style-type: none"><li>設定した目標に対して、どの程度進捗しているかを、定期的に管理する。 （金融機関としてもモニタリングの際に確認することが可能）</li></ul>

94



# 2021年9月

香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアムの  
専門家派遣制度（2021年9月～2022年2月の約5ヵ月）を申請  
脱炭素診断を受けてみてはどうか



株式会社富士印刷のCO<sub>2</sub>削減報告書をお作りいただく



## 香川県地域ESG脱炭素設備投資促進専門家派遣 を始めます！

### 香川県地域ESG脱炭素設備投資促進専門家派遣を始めます！

香川県では、脱炭素社会の実現に向けて、県内事業者の環境に配慮した（ESG）設備投資を促すことを目的に、下記メンバーにより、「香川県地域ESG脱炭素設備投資促進コンソーシアム」を設置しました。

コンソーシアムの活動の一環として、県が、CO<sub>2</sub>削減に寄与する脱炭素設備投資を行う県内事業者に対して、融資に必要なCO<sub>2</sub>排出削減に係る目標の設定や、その目標に向けた計画策定の技術的なサポートを行う専門家を派遣し、コンソーシアムにおいて情報共有等を行い、県内事業者の再エネ・省エネ設備・機器の導入を促進します！

#### <コンソーシアム>

（株）百十四銀行、（株）香川銀行、高松信用金庫、観音寺信用金庫、香川県信用組合、（公財）かがわ産業支援財団、  
（公財）香川県環境保全公社、香川県

▲令和3年度 香川県脱炭素設備投資促進コンソーシアム

省エネにお悩みの事業者の皆さまを  
**省エネお助け隊**  
がサポートします

省エネって何をどうすればいいかわからないから手付かず...  
コストのかかる設備更新は不要!!  
省エネもした効果がよく分からないだけ...  
もっと効率的に省エネを減る方法ってあるの?

その悩み『省エネお助け隊』に聞いてください!

無料で相談や打ち合わせを行います      お客様で約1割負担

事前ヒアリング	事前打ち合わせ	省エネ診断・支援
省エネの悩みを事前にヒアリング	地域の専門家を交えてメニューの決定	課題の抽出から改善までフェーズごとにサポート
省エネ診断・支援において必要となるニーズ及び課題を事前にヒアリングします。	省エネお助け隊・専門家・中小企業者の3者で契約内容（診断・支援内容、費用）についての合意形成を行います。	契約に基づき、省エネ診断・支援を実施します。契約締結した事業者がすでに導入した設備を基に報告書を実施します。

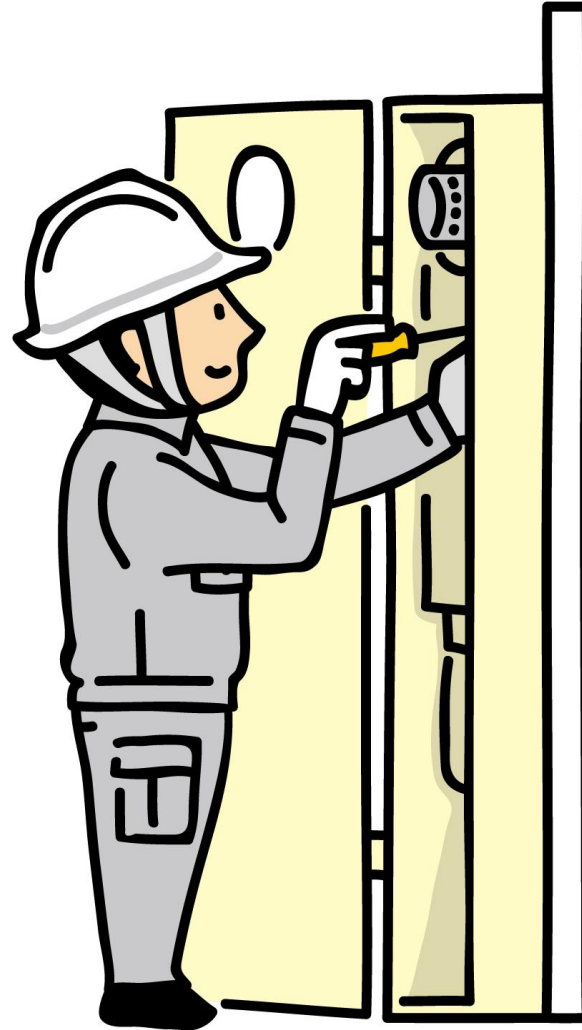
料金 省エネ診断 >> 専門家1名の場合: 9,200円(税別)/10,120円(税込) | 専門家2名の場合: 14,000円(税別)/15,400円(税込) | 省エネ支援 >> 省エネ支援費用の約1割をご負担いただきます

「省エネお助け隊」の活動状況については、WEBサイト「省エネお助け隊ポータル」に掲載されています。

詳しくは 省エネお助け隊ポータル 検索  
もしくは [www.shoene-portal.jp](http://www.shoene-portal.jp)



# ■ 専門家（エネルギー管理士）による脱炭素ポテンシャル診断






2022年2月

省エネルギー診断報告書

株式会社富士印刷

御中

省エネ



お助け隊

令和3年度 地域プラットフォーム構築事業

省エネルギー診断報告書


令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	大野原工場
事業所所在地	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社

株式会社富士印刷

御中

省エネ



お助け隊

令和3年度 地域プラットフォーム構築事業

省エネルギー診断報告書

令和 3年12月8日

支援対象者名	株式会社富士印刷
事業所名	観音寺工場
事業所所在地	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
診断実施者	坂東 宏治
診断実施日	令和3年10月13日
省エネお助け隊名 (診断実施事業者)	公益財団法人 香川県環境保全公社



二酸化炭素排出量算定・削減報告書

株式会社富士印刷 御中

令和3年度香川県地域ESG脱炭素投資促進専門家派遣事業委託業務

株式会社富士印刷

二酸化炭素排出量算定・削減報告書

目次

I 要約

II 事業所概要

III CO2排出量算定

IV CO2排出削減のポテンシャルと短期・中長期計画

V 資料

報告書番号	450001014762
法人番号	愛媛県四国中央市川之江町長須192
事業者住所	株式会社富士印刷
事業者名	香川県観音寺市大野原町青岡172-3
事業所住所	香川県観音寺市木之郷町大道上1451-1
経営責任者名	代表取締役 石川正人
業種	印刷業
主要製品・サービス	オフセット印刷 シール印刷
調査組織	一般社団法人エコエネ技術士ネット
報告日	2022年2月28日
専門家	児玉 弘士 金光 良介 池田 正規 栗原 茂

脱炭素化に向け、大枠の構想を建てる

**バックキャスティング**

**2030年**

当社全体のCO<sub>2</sub>排出量を  
**210tにする**

現況約**300t**

↓ (当社全体)2021年現在

2030年目標 30%減

**90t削減**

**2028年**

脱炭素に向けた  
**加工工場の新設**



**2024年**

脱炭素に向けた  
**印刷工場の新設**



**2022年**

脱炭素に向け専門家を  
依頼し**社内教育の実践**



**事業再構築の人材育成計画**



# SDGs 行動宣言

2022年3月



取引銀行で  
SDGs推進計画を策定→宣言

2022年3月8日

SDGs行動宣言

株式会社富士印刷

わが社は、企業活動を通じて、社会課題の解決に取り組み、SDGs達成に貢献しています。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
<b>環境</b> 脱炭素社会の実現	13 気候変動に具体的な対策を 7 再生可能エネルギーにわたって持続可能なエネルギー	・製造工程における2021年度CO <sub>2</sub> 排出量を2030年度迄に30%削減し、2050年度のCO <sub>2</sub> ネットゼロを目指す ・温室効果ガスの削減に向けた、再生可能エネルギーの利用や省エネ対策の推進
<b>職場</b> 健康経営の推進	3 持続可能な開発のための健康を確保 8 働きがい、経済成長、雇用	・ハラスメントに関する規定を設け、社内掲示板やポスターなどによる社内周知 ・労働災害事故の撲滅
<b>研究</b> 責任ある企業行動	12 持続可能な消費と生産 9 持続可能な産業と革新 17 持続可能なパートナーシップ	・人と環境に優しい安心・安全な製品の提供 ・循環型社会に向けた、ライフサイクル全体での「リサイクル」の実現 ・産学連携での基礎的研究の実施
<b>社会</b> レジリエントな社会づくり	11 持続可能な都市とコミュニティ 17 持続可能なパートナーシップ 2 気候変動に具体的な対策を	・地域全体のエネルギー計画への参画、地球環境への貢献 ・サプライチェーン全体での地産地消の推進および、地域環境保全活動の実施

地域と歩む 新たな未来

**観音寺信用金庫**

私ども、株式会社富士印刷の全従業員は、経営理念に掲げる「時代とともに進化し、新しい価値を創造することにより、全社員、お客様、世の中の皆様の物心両面の幸福を追求すると共に、感謝の心をこめて社会に貢献する」の実現を目指し、地域社会の一員として、地域のさまざまな行事や活動に参加するとともに、カーボンニュートラルを含む環境課題に積極的に取り組み、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）達成のため果敢に行動してまいります。

項目	関連するSDGsのゴール	SDGs達成に向けた取組
<b>環境</b> 脱炭素社会の実現	13 気候変動に具体的な対策を 7 再生可能エネルギーにわたって持続可能なエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造工程における2021年度CO<sub>2</sub>排出量を2030年度迄に30%削減し、2050年度のCO<sub>2</sub>ネットゼロを目指す</li> <li>・温室効果ガスの削減に向けた、再生可能エネルギーの利用や省エネ対策の推進</li> </ul>

2022年3月8日

四国経産局先進事例に  
推薦される

**株式会社 富士印刷【商業印刷 紙加工業】**

●SDGs経営は「社会でもあり」「先義後利」の精神と相似する取り組みであり、自然に受け入れることができました。  
●SDGs経営と真剣に向き合ったことが、**新商品の開発、若手社員の雇用対策（奨学金返還支援制度への登録）**など、新たな取り組みを始めるきっかけになった。

○SDGs経営に関する意識の変化

・はじめは世の中の流れを追う形で、取り組みを開始。試行錯誤しながら取引金融機関の働きかけにより勉強会へ参加し、自社の認識の甘さを痛感。SDGs経営はサプライチェーン全体で11の目標の取り組みであり、廃止（対応できない）企業は存続できないという危機感を覚える。

・宣言に向けた勉強会やミーティングを重ねる中で、なぜ、何のために取り組むのか少しずつ納得、理解できたことで自社の方針と宣言を結びつけることができた。

・既存のサプライチェーンを形成する一連の企業が共存できるような、取引先（調達先）と共に対話を重ねSDGsのマインドを共有している。

○社内の取組体制

・取り組みを始める前（宣言）に至るまで2年間の準備。取引金融機関と一人三層で始めたが、最初は用語一つ一つで理解に苦労していた。

・社内での浸透にも難航し、まずは社長を中心とする経営者層でチームを結成。次に管理職層へと下ろしていき、役員を軸に少しずつ輪を広げていく。

・SDGsは納得・理解してもらうまでに時間がかかり、何度も対話を重ねる必要がある。宣言を行った現在でもまだ社員全員まで浸透してないが、最後の一人まで浸透するよう社内活動を継続する。

○SDGs宣言における当社の取組

【環境】

・「CO<sub>2</sub>排出量30%削減」に向け、「省エネお助け隊」の支援により省エネ診断を実施。診断結果に基づき、老朽化した設備の更新によるエネルギー効率改善や、廃熱設備の配管変更による工場内環境の改善を検討中。

【職場】

・社員の経済を心身ともに守ることは、当然の責務として取り組んでいる。また、新たに「公財」川之江奨学金返還支援制度に登録。就業した際の奨学金返済を支援することで、若手社員が安心して働ける環境を提供。

【研究】

・SDGs経営への取り組みを機に、安心で信頼される商品提供に向けた新商品の開発を検討し、酸化チタンを用いた抗菌・殺菌効果のある抗菌紙（インキを使った印刷物の開発）に着手。第三者機関による実証、ものづくり補助金の採択を経て商品化を進めている。

○SDGs経営に取り組んで良かったことと今後

・自社を取り巻く環境や、今後目指すべき方向性等について考えるきっかけとなった。特に、新商品の開発着手や奨学金返還支援制度への登録という動きは未だ取り組みがなければ実現してあらず、企業の成長を促す良い機会を得ることができた。

・どのような事でも、継続していると「当たり前」になってくる。例えば、当社の持っている「SS活動」の月例報告会も、継続するうちに社員の声が上がるようになった。「SDGs経営」についても一日も早く全社員に浸透させ、各人が自然と行動に実践出来るよう取り組んでいきたい。

※「整理、整頓、清掃、清潔、しつこい」の5Sから始まる5つの意識の総称で、職場環境の改善や維持のために用いられている。

**【会社概要】**  
【本社】愛媛県四国中央市川之江町長瀬192番地  
1967年に設立され、50年以上の歴史を有する。  
2017年には、「経済産業省より地域未来牽引企業」に選定される。時代とともに進化し、新しい価値を創造することにより、全社員、お客様、世の中の皆様の物心両面の幸福を追求すると共に、感謝の心をこめて社会に貢献する「SDGs経営」を推進。

2022年6月17日





# 実施

100%自家消費型太陽光発電



国産省エネ型 最新フルスペック  
オフセット印刷機

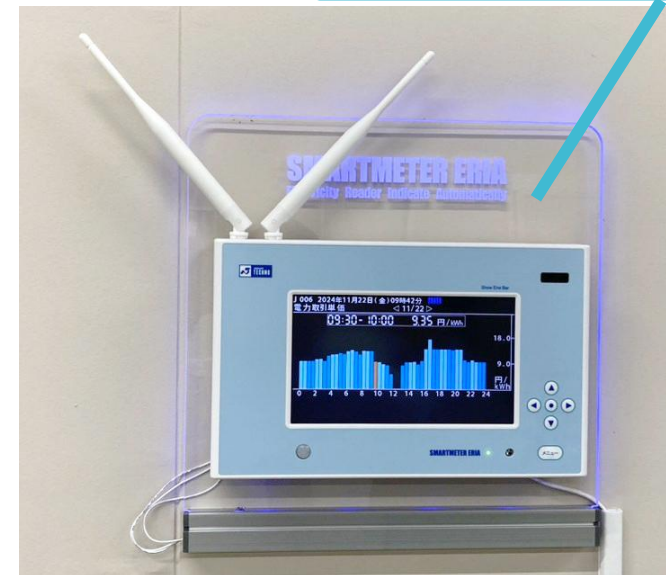
前機種と比較し約  
20%~CO<sub>2</sub>削減



全工場EV化  
プラッター



電力のデマンド  
管理システム  
(全工場設置)



国産EV車  
導入





# 開示（公的Webサイト・自社HP等）



「TEAM EXPO 2025」プログラム 共創パートナー・共創チャレンジ募集開始

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会は、大阪・関西万博の開催に向けて、大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するため、多様な参加者が主体となり、理想としたい未来社会を共に創り上げていくことを目指す取り組み「TEAM EXPO 2025」プログラムを本格スタートします。

新たな制度として、「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けた個々の活動である「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ（以下「共創チャレンジ」と）、共創チャレンジを創出し活動を支援する「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創パートナー（以下「共創パートナー」）の制度を設け、募集を開始します。

本プログラムは、大阪・関西万博のテーマの実現を目指した具体的な活動を起こすものとして、来を見据えた未来社会創出活動（共創チャレンジ）を数多く生み出し、その活動を結実させる。

### 共創チャレンジ

株式会社 富士印刷

## 四国の中心からゼロカーボン発信

**共創チャレンジの内容**  
産業の町ー四国中央市、観光の町ー三豊市・観音寺市から**脱炭素化**を発信します。  
太陽光発電設置の脱炭素工場新築、省エネ型印刷機やEV車の導入により、印刷時の有害化学物質や騒音が低減され、**環境負荷の少ない印刷**が可能となりました。今後は「低炭素グッズ！ 燧（ひうち）SDGsセット」を使用し、**地域の脱炭素社会**への進展に貢献していきたいです。

**今後の展開**  
四国だけではなく、本州へも展開したいと考えています。四国が拠点の企業・団体、当チャレンジをご支援いただける行政機関、金融機関との共創を希望。

**大阪・関西万博テーマとの関わり**  
書道パフォーマンス甲子園inEXPO（特別大会）が開催されるため、印刷物の面から協力したいです。

**問い合わせ先**  
株式会社 富士印刷 総務部  
TEL：0875-27-6494  
FAX：0875-27-7951  
Mail：info@fujii-print.jp

## 四国の中心からゼロカーボン発信

共創チャレンジ 2024.08.06

経済産業省 国土交通省 環境省 文部科学省 農林水産省 厚生労働省 法務省 警察庁 消防庁 国土交通省 国土交通省 国土交通省

法人	
店名	株式会社富士印刷
代表者	株式会社富士印刷
所在地	四国中央市
活動テーマ	観光、インバウンド、地域活性化、もくづくり、サービス、大阪・関西万博の開催、テーマパークの発展

**共創チャレンジの内容**  
株式会社富士印刷は、愛媛県四国中央市に本社を置き、高知県高知市に太陽光発電工場と製造工場を擁する印刷会社です。昨年、西条市と高知市とで協賛関係を結んだ脱炭素工場建設及び脱炭素工場建設やEV車の導入を行いました。これにより、印刷時に発生するVOCsなどの有害化学物質の削減を実現し、環境負荷の少ない印刷が可能となりました。今後は書道パフォーマンス甲子園inEXPO（特別大会）を開催する脱炭素工場建設やEV車の導入により、脱炭素社会の実現を目指します。また、当社の工場内環境として「道の駅」から「道の駅」が2025年度に開業される予定です。道開きに伴って環境が良くなるため、当社の脱炭素工場を建設してもらえる機会と考えています。産業の町ー愛媛県四国中央市、観光の町ー高知市・三豊市・観音寺市から脱炭素化を発信します。

**共創チャレンジの募集**  
人数：50名程度を募集。幅広い年齢・性別・業種の方々を募集できる人材

**募集したい地域**  
四国だけではなく、本州へも展開していきたいと考えています。

**共創チャレンジを希望する方々**  
・四国を拠点に活動する企業、団体  
・共創チャレンジをご支援いただける行政機関、金融機関

**実施地、関西万博テーマとの関わり**  
書道パフォーマンス甲子園inEXPO（特別大会）を開催する脱炭素工場建設やEV車の導入により、印刷時の有害化学物質や騒音が低減され、環境負荷の少ない印刷が可能となりました。今後は「低炭素グッズ！ 燧（ひうち）SDGsセット」を使用し、地域の脱炭素社会への進展に貢献していきたいです。

**連絡先**  
株式会社富士印刷 総務部  
〒799-1617 高知県高知市大塚町番地72-3  
TEL：0875-27-6494 FAX：0875-27-7951  
Mail：info@fujii-print.jp

この共創チャレンジを支援する共創パートナー

経済産業省 国土交通省 環境省 文部科学省 農林水産省 厚生労働省 法務省 警察庁 消防庁 国土交通省 国土交通省 国土交通省

経済産業省 国土交通省 環境省 文部科学省 農林水産省 厚生労働省 法務省 警察庁 消防庁 国土交通省 国土交通省 国土交通省

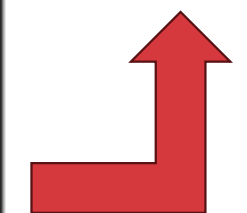
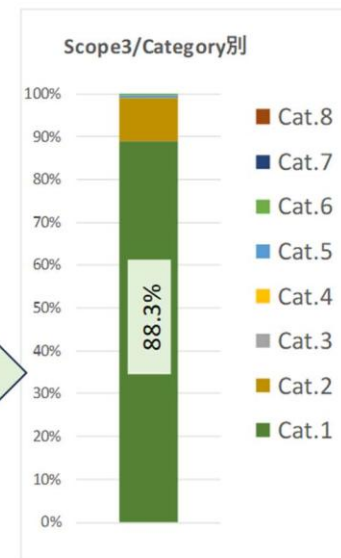
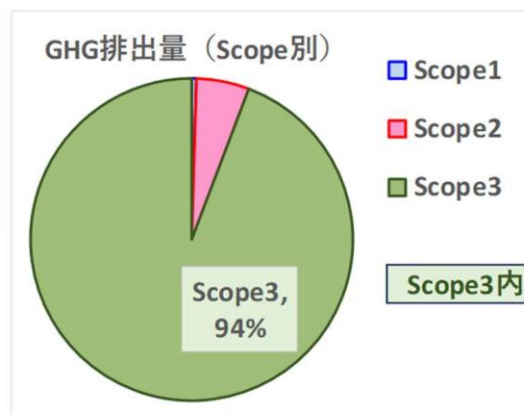


# Scope3の開示（中小企業では超レア！）

カテゴリー	行ラベル	合計 / 取引金額	経費支出 割合	GHG排出量 総計	GHG排出量 割合
Cat.1	材料仕入		45.5%	3,987.06	70.7%
Cat.2	建設費		14.1%	348.39	6.2%
Cat.1	外注加工費		13.5%	37.14	0.7%
Cat.1	補助材料費		4.6%	134.60	2.4%
Cat.2	減価償却費		4.2%	128.35	2.3%
Cat.1	商品仕入		2.7%	188.42	3.3%
Cat.1	原材料		2.3%	216.51	3.8%
Cat.2	ソフトウェア		1.5%	9.83	0.2%
Cat.1	修繕費		1.3%	33.85	0.6%
Cat.1	保険料		1.0%	5.93	0.1%
Cat.1	消耗品費		0.9%	38.89	0.7%
Cat.1	生命保険料		0.8%	4.91	0.1%
Cat.2	機械及び装置		0.6%	17.35	0.3%
Cat.1	管理費		0.5%	7.42	0.1%
Cat.4	発送配達費		0.4%	6.48	0.1%
Cat.1	接待交際費		0.4%	9.72	0.2%
Cat.1	保守料		0.3%	1.95	0.0%
Cat.5	ごみ処理費用		0.3%	24.18	0.4%
Cat.2	工具、器具及び備品		0.3%	5.50	0.1%
Cat.1	通信交通費		0.2%	1.81	0.0%
Cat.1	事務用消耗品費		0.2%	9.84	0.2%
Cat.1	実習費(他)		0.2%	4.44	0.1%
Cat.1	厚生費		0.2%	4.27	0.1%
Cat.4	車両運搬具		0.2%	2.59	0.0%
Cat.2	通勤手当		0.2%	20.33	0.4%
Cat.6	一括償却資産		0.2%	5.82	0.1%
Cat.1	旅費交通費		0.2%	12.73	0.2%
Cat.7	雑費(他)		0.2%	7.12	0.1%
Cat.1	車両費(他)		0.1%	3.70	0.1%
Cat.1	備品消耗品費		0.1%	4.12	0.1%
Cat.1	雑会費		0.1%	1.52	0.0%
Cat.1	広告宣伝費		0.0%	0.51	0.0%
Cat.1	試験研究費		0.0%	3.84	0.1%
Cat.5	PS版現像費		0.0%	11.23	0.2%
Cat.1	水道料		0.0%	1.72	0.0%
Cat.8	リース料		0.0%	-	0.0%
Cat.1	娯楽等水道		0.0%	0.57	0.0%
Cat.8	賃借料		0.0%	-	0.0%

**Scope3とは、事業者の活動に関連するその他の排出（Scope1、2以外の間接排出）**

Scope1	26.4	(t)	0.5%	エネルギー使用量より算定
Scope2	300.5	(t)	5.3%	エネルギー使用量より算定
Scope3	5,303.7	(t)	94.2%	支出金額より算定
Cat.1	4715.5	(t)		
Cat.2	529.8	(t)		
Cat.3	1.1	(t)		
Cat.4	9.1	(t)		
Cat.5	35.4	(t)		
Cat.6	5.8	(t)		
Cat.7	7.1	(t)		
Cat.8	0.0	(t)		



**決算書より  
算出可能**

# SBT認証取得に挑戦



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2024.12.  
某新聞 経済欄

脱炭素経営認定  
中小1,000社超え

**S B T 認証**取得、2年で売上高〇倍  
取引や採用で有利に





## 聞き取り審査1回+支援3回（終日）

## カーボンニュートラル取り組みのメリット

近年では、グローバルに展開している企業などには取り組むのが無条件に当たっており、中小企業・小規模事業者が取り組むことも様々なメリットがあります。



**SDGsの達成**



**地球環境に貢献**



**取引先からの信頼性向上**

その他、新たな需要の獲得・資金調達手段の拡大など、様々な効果が期待できます。



### 現状を 知る

**チェックシートで現状把握**

「カーボンニュートラルに向けたチェックシート」を掲載しております。  
まずは現状の把握が第一ステップです！

**中小規模の窓口で相談 オンライン版**

貴社のカーボンニュートラルを考えた際に、中小規模の専門窓口で「質問無料」でアドバイスします。\*（複数回利用可）






### CO<sub>2</sub>排出量を 測る

**CO<sub>2</sub>排出量の算定、アドバイス**

算定のCO<sub>2</sub>排出量に基づいて、中小規模の事業者向け3段階のアドバイスをします。

1段階  
現状  
把握

➡

2段階  
課題  
発見

➡

3段階  
削減  
対応の検討

**ハンスオン派遣（専門派遣員）**

貴社がカーボンニュートラルに取り組むにあたり「プロジェクト」など、中小規模の専門チームを派遣して、削減効果を実感いただけます。  
\*「プロジェクトチーム」  
「プロジェクトチーム」は、貴社のCO<sub>2</sub>排出量を調査し、削減策を提案します。\*（複数回利用可）  
\*「プロジェクトチーム」は、貴社のCO<sub>2</sub>排出量を調査し、削減策を提案します。\*（複数回利用可）

<b>期間</b>	<b>5ヶ月・10日程度</b>	<b>費用</b>	<b>17,500円</b>
<b>日程</b>	<b>10ヶ月・20日程度</b>	<b>費用</b>	<b>17,500円</b>

（専門派遣員1名あたり）





### CO<sub>2</sub>排出量を 減らす

**相談場所**

- 中小規模 白富本 事務所 Tel.087-811-1752
- 〒796-0117 香川県白富本町1-1-1 白富本ビル1F
- 中規模 白富本 松山ブイオウ Tel.089-998-6531
- 〒793-0002 愛媛県松山市大町2-5-7 松山ビル2階西側



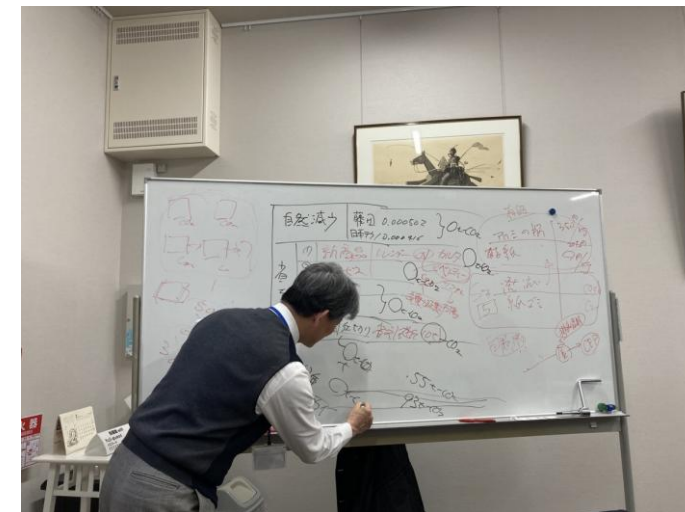
### セミナー・講習会に講師を派遣します！

● 中小企業者の研修には ● 経営幹部・社員向けセミナー・勉強会など  
● 中小企業支援機関の研修には ● 中小企業向け、支援担当者向けでのセミナー・講習会など  
まずはお気軽にご相談ください。



お問い合わせ・申し込み先  
白富本・松山・白富本事務所 相談窓口 白富本課 Tel.087-811-1752







# Scope 1 + Scope2

**Scope2とは、自社が購入した電気・熱等のエネルギーの使用に伴う間接的な排出のことを指します。具体的には、自社が購入して使用した電気、熱、冷水、蒸気などが排出源となります。**

Scope 2 (購入電力)				269.52	t-CO2/t												
NO	系統・区画の種別	電力事業所 名称		排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量											
		数量	単位			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	系統1	356,109	kWh/年	0.000529	188.38	723	728	722	705	54,494	48,253	42,744	35,512	37,758	42,152	47,091	45,227
2	系統2	191,354	kWh/年	0.000424	81.13	42,015	42,432	52,014	54,893								
	系統3		kWh/年		0.000424												
	集計合計				269.52	427.38	413.60	527.36	555.08	54,494	48,253	42,744	35,512	37,758	42,152	47,091	45,227

2) 電気の場合		Scope 2 (購入電気)		300.54	t-CO2/年													
NO	エネルギーの種類	エネルギー使用量		電気事業者名	排出係数 [t-CO2/kWh]	CO2排出量 [t-CO2/年]	月別使用量											
		数量	単位				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	系統1	598,692	kWh/年	藤田商店	0.000502	300.54	43,604	44,594	54,164	59,646	58,103	55,467	43,257	45,253	45,729	48,754	52,657	47,464
2	系統2	0	kWh/年			0.00												
3	系統3	0	kWh/年			0.00												
電気合計						300.54	43604	44594	54164	59646	58103	55467	43257	45253	45729	48754	52657	47464

※電気事業者別排出係数については、以下を参照  
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>  
 ※ガス・重油の発熱量・排出係数については、令和4年発行のものを使用

	全国平均排 出係数	ロケーション ベース排出 量
2018年	0.000496	258.653
2019年	0.000462	272.656
2020年	0.000445	264.733
2021年	0.000433	237.051
2022年	0.000434	260.367
2023年	0.000438	262.227



# Jクレジット購入

弊社では日頃より脱炭素経営に取り組んでいます。

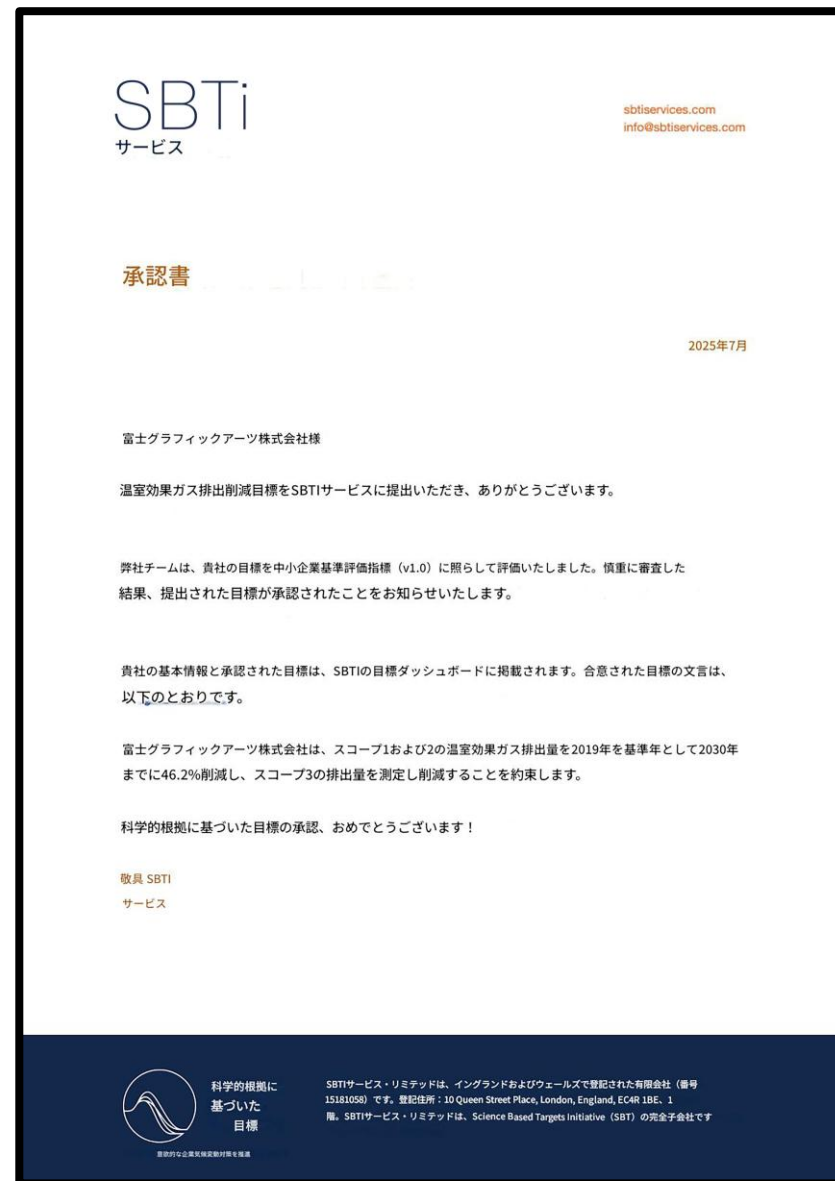
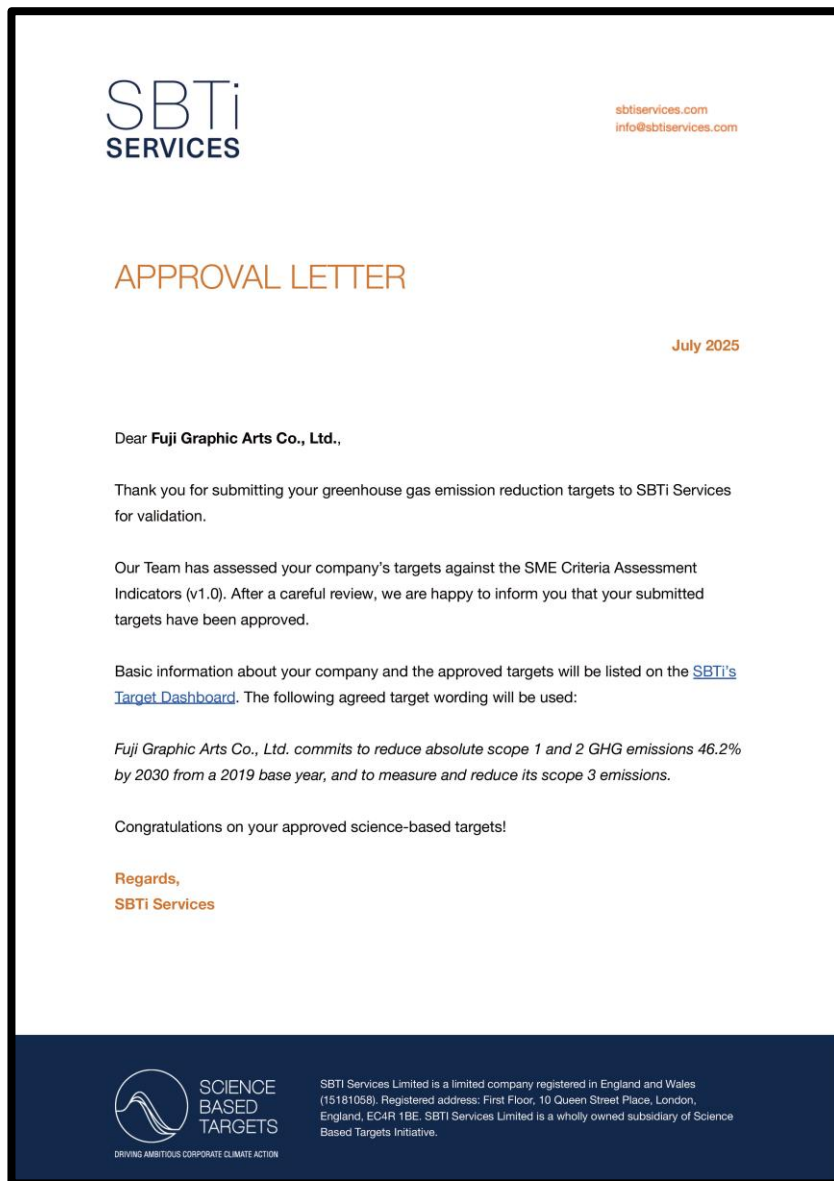
その取組みの一つとして、令和7年3月7日香川県と、香川県【かがわスマートグリーン・バンク（太陽光発電）】クレジット売買契約を締結し、20t-CO<sub>2</sub>購入いたしました。

## （令和6年度実績）

- ・購入者 : 株式会社百十四銀行
- ・業務内容 : 預金・貸出業務、為替業務、コンサルティング業務、資産形成業務、外国為替業務等
- ・所在地 : 高松市亀井町5-1
- ・購入量 : 500t

- ・購入者 : 東洋炭素株式会社（詫間事業所からのお申込み）
- ・業務内容 : 高機能カーボン製品の製造、販売および関連する加工事業
- ・所在地 : 大阪市北区梅田1-13-1大阪梅田ツインタワーズ・サウス16F
- ・購入量 : 1,190t

- ・購入者 : 株式会社富士印刷（観音寺市大野原工場からのお申込み）
- ・業務内容 : 印刷及び関連する紙加工業、シールラベル製品の製造
- ・所在地 : 四国中央市川之江町長須192
- ・購入量 : 20t





# 令和6年度「かがわ脱炭素取組優秀賞」を受賞

〈取組み内容〉脱炭素への取組みの一環として、メイン金融機関と共同で脱炭素事業計画を策定した。カーボンニュートラルと、経済発展の同時達成をすべく、省エネ・再エネ設備の拡充を目指す脱炭素に向けた新工場建設に着手し、令和6年1月に竣工。新工場内の照明は全てLEDを採用、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動消灯・節電を採用。空調は排気だけではなく、吸気も行う換気設備を導入し空気の流れを制御することで負荷を軽減、冷暖房コストを抑える。印刷機からの熱を速やかに外へ排気し外部より吸気ができるよう設計・工夫し室内の温度上昇を抑制。

～脱炭素に向けた新工場概要～

令和6年1月16日完成

【写真①】自家消費型太陽光発電設備を設置

【写真②】省エネ・省資源、印刷時に放出される有害化学物質の低減、騒音低減などに取組める、より環境負荷の少ない印刷機「リスロンG40 アドバンス」を新たに導入

【写真③】既存の工場にも据付している、デマンド監視装置を新工場に導入し、「電力の見える化」による省エネに取組んだ。

【写真④】EV充電設備を設置し、EV車を購入した。(令和6年1月購入)

【写真⑤】電動ブラッターを購入し、新工場で使用、充電している。(令和5年9月購入)

【写真①】



【写真②】



【写真⑤】



【写真③】



【写真④】



令和7年3月7日 香川県庁にて





# 地元新聞社に取材を受け掲載されました

## 注目の先進事例 脱炭素化の推進へ

### 省エネ拡充した新工場稼働

#### “攻め”の脱炭素経営へ

富士印刷(観音寺市)

カタログやパンフレット、ポスターなどのデザインデータ作成及び紙加工製品の印刷・加工を手がける富士印刷(観音寺市)は、「ネットゼロ(二酸化炭素・CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ)社会実現に向けた攻めの脱炭素経営をスタート。専門家による調査をもとにCO<sub>2</sub>排出量を可視化した上で、削減に向けた取り組みに力を入れていることなどが評価され、令和6年度のかがわ脱炭素促進事業者表彰」の優秀賞を受賞した。

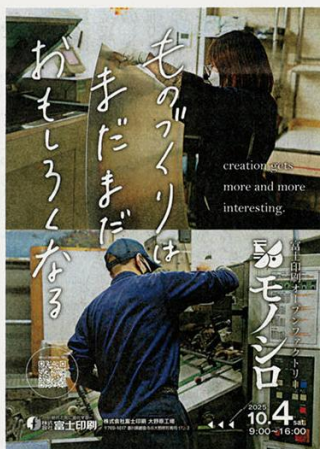
製造工程におけるCO<sub>2</sub>排出量を30年度までに21年度比で30%削減し、50年度にはネットゼロとする目標を掲げている。

脱炭素と事業拡大を両立するため、観音寺市で省エネ・再エネ設備を拡充した新工場の建設を着手し、24年1月に完成した。新工場は自家消費型太陽光発電設備を備え、電源スイッチの細分化や人感センサー機能により不要な場所の照明は自動で消灯するなど節電を徹底している。空調設備も省エネ化。排気に加え、吸気も行う換気設備を導入し、空気の流れを制御することで環境負荷を軽減、冷暖房コストを抑えた。また全ての工場において、デマンド監視装置設置による電力使用量過多の抑制、照明等の完全LED化、使用するリフトのEV化を行っている。

このほか、国際認定「SB

Tサイエンス・ベースド・ターゲット」の取得に向けた取り組みが最終段階を迎える。SBTは地球温暖化対策の世界的な枠組みパリ協定の目標達成に向け、温室効果ガス削減に取り組む企業の行動計画を科学的に審査・認定しており、認定取得を通じて、脱炭素経営に弾みをつける。

さらに10月4日(土)に新工場を一般公開する「富士印



10月4日に新工場を一般公開するオープンファクトリーを開催する

企画 制作/四国新聞社広告局

さらなる脱炭素への取り組みを誓う社員たち





# 富士印刷オープンファクトリー モノシロ開催

**2025.10.4 (土)**

**OPEN▶9:00~16:00**



＜主催＞オープンファクトリー実行委員会

＜後援＞ 四国中央市 四国中央市教育委員会 観音寺市 観音寺市教育委員会 27

株式会社富士印刷

# 地域の皆様から選ばれる会社

## 誰一人取り残さない社会



脱炭素に関しては、多くの人が  
取り残されている  
地域、暮らし、社会の  
脱炭素推進の  
旗振り役を担いたい



社会の中の当社のイメージ図





「**想いが  
未来を拓く!!**」

株式会社富士印刷

代表取締役 石川 正人

ご清聴  
ありがとうございました

